

# 助成業務の 「省力化・運用見直し」

を考え始めたら読む資料



## 助成金支援を通じてより良い社会の構築

そのためにも研究、事業活動をされている方々への支援、申請者の方々との交流やコミュニケーションに充てる時間が重要



しかし、他業務での課題や負担が多くその余裕がないのが助成団体に多い現状



### 申請、審査データ管理

- ➡ 書類管理、郵送の手間、転記作業の負担、人的作業ミスが発生



### 進捗管理

- ➡ 応募・審査・結果報告の状況など段階ごとの状況が不透明



### 申請者とのコミュニケーション

- ➡ 申請の差し戻し対応、問い合わせ対応、各種通知など作業負担大



### 資料作成コスト

- ➡ 申請書類、審査用の資料作成など膨大な量かつ煩雑な作業の発生



### 個人情報漏洩のリスク

- ➡ 紙資料の紛失・消失  
個人情報漏洩などリスク有



### 属人化

- ➡ 独自の運用によって作業が属人化し業務の分散や引き継ぎが困難



## 申請、審査データ管理

➡ デジタル化による申請・審査データ  
の一元管理で業務がシンプルに



## 進捗管理

➡ リアルタイムの進捗管理・表示、  
リマインドメール機能がサポート



## 申請者とのコミュニケーション

➡ お知らせ、メッセージ、各種通知の  
自動送付など豊富な機能がサポート



## 資料作成コスト

➡ WEB申請によるペーパーレス化  
データ出力機能で作業負担を削減



## 個人情報漏洩のリスク

➡ データの暗号化など  
十分なセキュリティ対策が前提



## 属人化

➡ システムによる運用フローの統一化  
権限により誰でも担当できる環境

助成業務システムを導入し、  
一連のフローを運用管理する

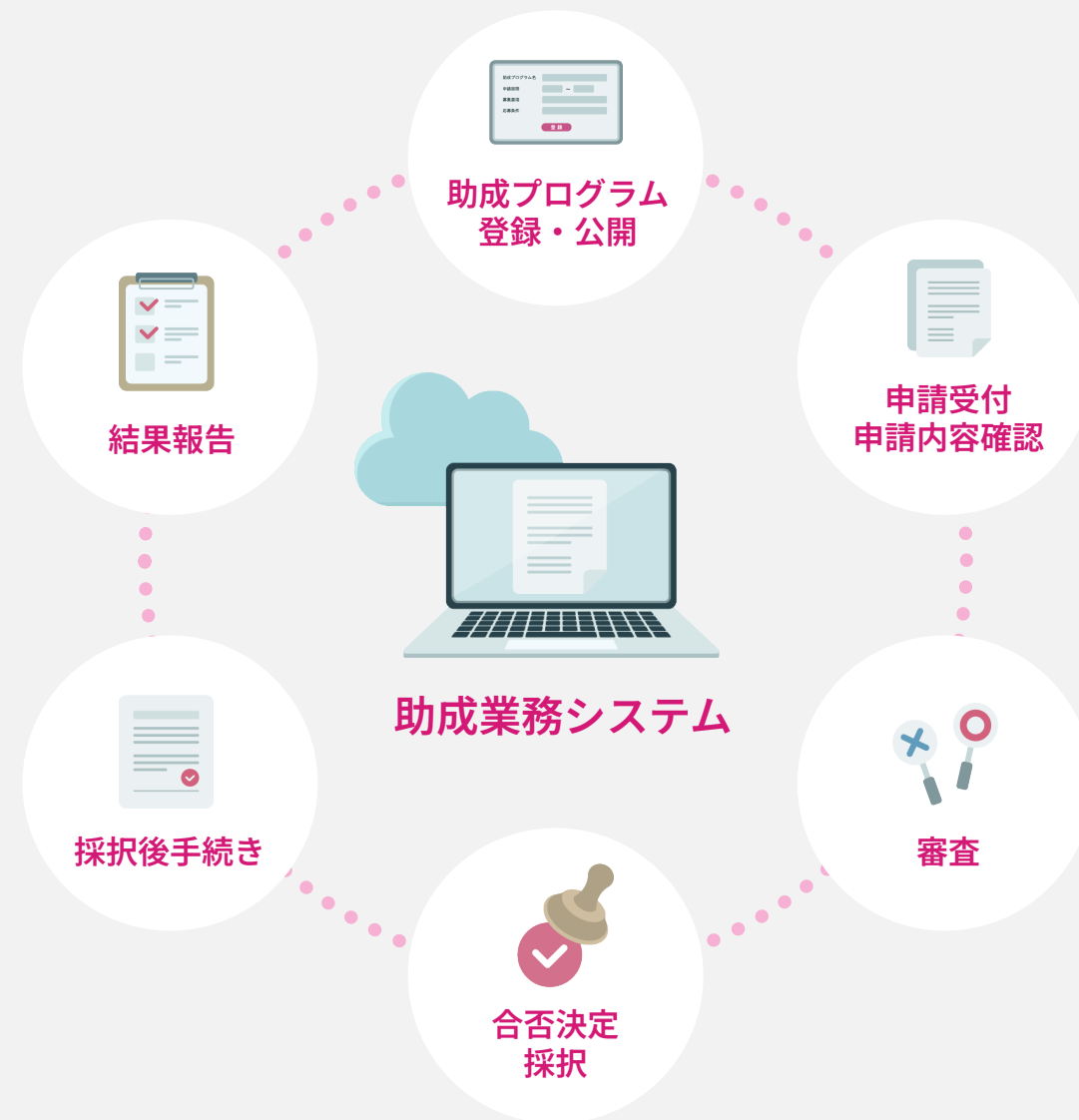


煩雑な助成業務がシンプルに  
運用課題や負担を大幅に改善

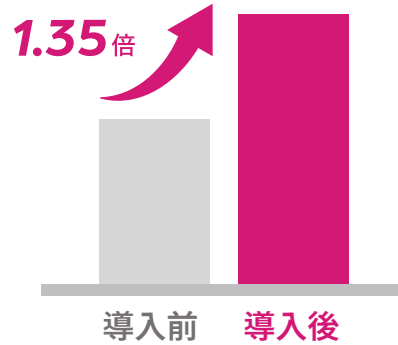


申請者の方々とのコミュニケーションなど  
**本来取り組みたかった業務**

に時間を充てることが可能に



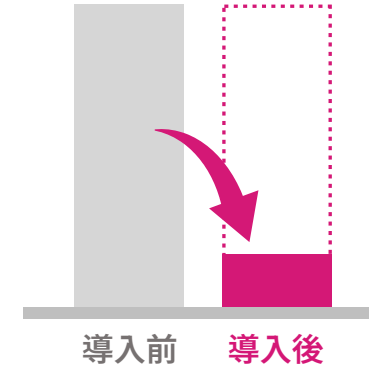
## 申請数



アナログから移行し利便性が大幅に向上

申請数が**1.35倍**に増加

## 事務局の業務負担



ペーパーレス化など助成業務を効率化

業務負担を**80%**以上削減



申請者の声

- 場所を問わずいつでも申請ができ、書面と比べて申請情報の作成にかかる時間も短縮できた
- 申請内容にミスがあった場合でも修正がし易く、財団とのコミュニケーションも取りやすかった



事務局の声

- 審査担当者との連携がスムーズに行えた
- 書面準備の必要がなく、申請情報や審査情報もシステム上だけで確認できるので大変便利

## お役立ち情報

Graainの導入事例やウェビナー案内、  
その他、助成業務システム導入検討に関する  
お役立ち資料を多数ご用意しております。  
ぜひご利用ください。

お役立ち情報ページへ

<https://www.graain.net/useful/>



ご相談・お問い合わせ

疑問や不明点などがありましたら  
お気軽にご相談・お問い合わせください。

ご相談・お問い合わせはこちら

<https://www.graain.net/contact/>